

熊野古道

ふらふらと記

9

府内の熊野古道を訪 渡り、イオン貝塚店へ ねて泉州を更に南下し 貝塚市立南小学校へ正 てJ.R和泉橋本駅(貝 福寺(鞍持王子)へ丸 塚市)で下車。原宮遺 山古墳へ南近義神社 跡を左手に見て踏切を (近木王子)へ吉祥園



吉祥園寺(貝塚市王寺町)にて

タオルの町、泉佐野へ

絵と文・熱田親憲

題字・熱田秦華

寺へ貝田会館(鶴原王 寺跡・泉佐野市)へ加 支多神社へ南海本線鶴 原駅の約3キロ、小栗街 道(熊野街道)を歩い た。街道が今も町の生 活道路としてにぎわ い、街角には出番待ち の山車庫があり、その

の吉祥園寺は案内標識 が見当たらず、たどり 着くのに苦労した。そ の吉祥天女像はあまり に美しいため、信州の ある世俗の僧が愛を感 じ、「結婚してください」との願を重ねてい たある夜、夢の中で結 訪ねた。南海本線に乗

ら鶴原駅に向かった。 道路脇には、勢いよく 流れる水路があり、田 園都市・泉佐野の心地 よさを感じた。

泉州のタオル産業の 現況と歴史を聞くため 大阪タオル工業組合を 訪ねた。南海本線に乗

者・里井団次郎にその 製造の研究を勧めた。 Towel Club b)で差別化を図り、 05(平成17)年に「泉 州こだわりタオル」を 商標登録。①優れた吸 水性②おろしたてで使 える③心地よい肌ざわ り——を地域ブランド 戦略の3本柱にした と、樫井専務理事は自 信たっぷりだった。国 内産のもう一つの雄、

日本手ぬぐいがルーツ

近くには立派な門構え の旧家がらみを利用が 霧田気を感じさせた。

街道筋を少し入った ところには、廃業した タオル工場や現役の縫 製工場などが見られ、 歴史の展示ブースのよ うだった。海から貝に 乗って出現したといわ れている本尊の十一面 観音像が有名な王子町

ばれたという奇異な縁 が日本霊異記に伝えら れているという。ふと、 学生時代、当麻寺(奈 良県葛城市)の弥勒菩 薩の女性美に愛を感じ た人の新聞記事を読み 出し、重なった。

後鳥羽院熊野御幸記 (1201年)にも「吉 祥園寺」の記載があり、 上皇は天女像をどう感 じたのかと邪推しなが

って泉佐野駅で下車。 樫井学・専務理事にお 会いた。

1872(明治5) 年、イギリスから初め てタオルが輸入され、 襟巻きとして一部の人 に愛用され始めた。85 001(平成13)年に 国産と輸入の比率が逆 転。国産は新しい方向 性が求められる時代と なった。一定の工程で 化学薬品を使用しない 予定)

その後、今治タオル の歴史が94(明治27) 年に始まり、日本タオ ル産業は発展した。平 成に入ると、中国を中 心に輸入品が増加し2 略にどう結びつけるか が勝負と感じ、今後の 成功を願った。

裂け柘榴ほどこし溢 る天女像 秦華

(次回は8月29日掲載 予定)